

公表

## 事業所における自己評価総括表【児童発達支援・放課後等デイサービス事業】

○ 事業所名	デイジーくらぶ			
○ 保護者評価実施期間	令和 8年 1月 19日		～	令和 8年 2月 19日
○ 保護者評価有効回答数	(対象者数)	【児童発達支援】 3	(回答者数)	【児童発達支援】 3
		【放課後等デイサービス】 25		【放課後等デイサービス】 25
○ 従業者評価実施期間	令和 8年 2月 19日		～	令和 8年 2月 20日
○ 従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○ 事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 25日			

## ○ 分析結果

事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
スタッフ同士で話し合う土壌がある	利用者の変化に気付き、気になったことはすぐに話し合うようにしている。 必要なときには他事業所と連絡を取っている。	利用者を取り巻く環境との繋がりを把握しつつ、研修等で障がい特性の理解に努める。 広報誌「Daisy」やHPによるデイジーくらぶの魅力を発信していく。
子どもたちの変化や成長を共有している	朝礼でその日の利用者にとどのスタッフがつき、どんな活動をするか、話し合っている。 活動後の振り返りによって、その日の利用者の様子や活動内容の情報を共有している。	個別支援計画の確認と見直しを定期的に行う。
子どもたちの状況に応じた対応ができる	遊具の工夫や夏休みのプール設営など、楽しめる環境づくりを図っている 周辺の公園等の把握をして、状況に応じた対応をしている。	屋外、施設内の環境を活用していく。 近隣の公園を把握し、データ化を行い、状況に応じた対応を図る。
子どもたちが考え、話し合い、決めていく場を設けている	夏休みなど、長期休暇期間には「子ども会議」を設け、係決めなど話し合っている。 年長児のリーダーシップを活かせるように、「遊びの計画」を立てる働きかけをしている	縦割り集団の特性を活かし、年長児のリーダーシップを育てる。

事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
地域の活動や住民との関わりの場がない	事業所としての地域との繋がりが少ない。	現在行っている併設高齢者施設の利用者との交流をさらに進める。 高校生や大学生のボランティアや様々な実習の受入れを図る。
保護者会や保護者の研修の場がまだない	利用者の複数事業所の利用が多く、場面設定が難しい。 保護者からのニーズが乏しい	追加のアンケートを実施して、保護者のニーズの把握に努める。 他事業所との連携による取り組みを進める。